

様式 9

「第 4 次富士見市生涯学習推進基本計画（案）」に対する意見募集の結果について

令和 8 年 3 月 3 0 日

生涯学習課

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。
ご協力に感謝申し上げます

【意見募集の集計結果】

1	意見募集期間	令和 7 年 1 2 月 2 4 日（水）から 令和 8 年 1 月 2 3 日（金）まで	
2	意見の件数	5 件	
3	意見提出方法	ホームページ応募専用フォーム	2 人
		郵送	人
		ファクシミリ	人
		直接持参	人
4	反映状況	A 意見を反映し、案を修正したもの	1 件
		B 既に案で対応済みのもの	件
		C 今後の参考とするもの	4 件
		D その他	件

【募集意見】 (5件)

No	意見概要	市の考え方	反映状況
1	P36「⑤NPO・企業等との連携」、P43「⑤サークルや市内学校の部活動と連携した事業の充実」について 計画案に位置づけられている「近隣大学との連携協定を活用した事業」について、包括連携大学と連携し、アクティブシニアと大学生が協働する課題解決型のフィールドワーク事業を試行的に導入することを提案します。	近隣大学との連携協定を活かした取組については、P36「⑤NPO・企業等との連携」に含まれており、計画達成に向けたご意見として、今後の計画推進に向けた取組の参考とさせて	C

2	<p>P40 「(3) 新たな人材の発掘【重点施策】」、P44 「④多世代との交流機会の促進」について</p> <p>担い手の高齢化・固定化という課題に対し、シニア層を支援対象として捉えるのではなく、地域を牽引する「アクティブシニア・アンバサダー」として位置づける発想転換を提案します。</p> <p>大学との連携を生かし、学生とシニアが協働するフィールドワークを生涯学習の中核に据えることで、多世代が役割分担しながら地域づくりに関わる仕組みを構築し、世代間交流の促進と持続可能な担い手育成を目指す。</p>	<p>いただきます。</p> <p>また、計画の進捗管理指標は、計画に記載されている KPI・KSF の他に、進捗管理シートで個別の取組指標を掲げるため、そちらの参考とさせていただきます。</p>	C
3	<p>P32 「⑩ICT を活用した学習機会の充実」、P33 「学習情報の発信」について</p> <p>ICT 活用による学習機会の充実と情報発信の強化に向け、大学生のデジタル知見を生かして市民を育成する「情報発信アンバサダー」制度の構築を提案します。</p> <p>デジタルデバイド対策にとどまらず、シニアが習得したデジタルスキルを市の魅力発信に結び付け、学習成果を社会に還元し、市民主体の効果的な情報発信体制を整えることを目指す。</p>		C
4	<p>P30 「【KPI】生涯学習活動を行っている人の割合」、P46 「【KPI】施設環境に対する満足度」について</p> <p>生涯学習の場を公共施設に限定せず、連携大学のキャンパスを市民の「学びのサードプレイス」として活用することを提案します。</p>		C

	<p>あわせて、KPI について参加者数や満足度だけでなく、大学・企業との共創プロジェクト数や学生とシニアによる地域課題解決の取組件数を新たな指標として導入し、生涯学習が市の持続可能性にどの程度寄与しているかを客観的に評価する体制を整えることも必要と考えます。</p>		
5	<p>P40「富士見市平和大使派遣事業」の記載について</p> <p>「平和大使」というネーミングは、他の自治体でも使用されている一方、一部で問題が指摘されている宗教団体で使用されており、別の名称が望ましいです。</p>	<p>取組の方向性を【次世代を育てる事業の実施】としており、中学生等若い世代の派遣について表現するため、「広島平和記念式典への中学生等の派遣」に変更いたします。</p>	A